



図書館サポーターズだより

明日に吹く風



淡いピンクの桜のはなびらが舞っていた景色が青々とした新緑に変わり、すでに夏の気配も感じられる、そんな季節になりましたね。季節の変化を感じる風に乗せて、今月も図書館サポーターがオススメの本をお届けします。

～図書館サポーター推薦図書～



『旅猫リポート』

有川 浩 著 (913.6 || A71)

皆さんは動物が好きですか？これは元野良猫のナナと心優しい青年・悟の、とある旅を綴った物語です。交通事故にあったナナを悟が助けて以来 5 年間ふたりは幸せに暮らしていましたが、とある事情により悟はナナを手放さなければならなくなってしまいます。そこでナナのことを大切に引き取ってくれる人を探しに、ふたりは思い出の銀色のワゴンに乗って旅を始めました。この穏やかな旅はまるでこれまでの悟の人生をなぞるように、小中高校生の頃の友人や好きだった人等、大切な人たちを辿っていきます。強い絆で繋がっているふたりの暖かな旅路を皆さんも一緒に歩いてみませんか。最後に明かされる悟の『秘密』は、実際に読んで知っていただきたいです。 (A.T)

『魔法使いは完全犯罪の 夢を見るか？』

東川 篤哉 著 (913.6 || H55)



美人な通称「八王子署の椿姫」こと椿木警部と、若手の小山田刑事が殺人事件の現場に出向くと、そこには三つ編みに紺色のワンピースの謎の美少女が。そんな彼女の正体はなんと「魔法使いマリィ」だったのです。魔法使いがいたら事件なんてパッと解決。とおもいきや、マリィにできるのは犯人を当てることだけで、トリックは魔法以外で証明しなければなりません。そこで、マリィと小山田刑事がタッグを組んで事件解決に挑みます。ところがこの小山田刑事は椿木警部に蹴られ罵られることを楽しみとするドMなのです。果たしてこの癖のある二人でトリックを暴くことができるのか。

軽快な文体とコミカルな展開で普段ミステリーを読まない方でも気軽な気持ちで読める作品ですので是非読んでみてください。 (A・O)

『アナログ』

ビートたけし 著 (913.6 || B48)



デザイン会社に勤めるデザイナーの水島は、真面目な性格であり、仕事をしっかりとこなしていた。そんな水島は、高校時代からの友達と行きつけの喫茶店「ピアノ」で待ち合わせをすることとなった。先に着いた水島は、店に来ていた品が良く美人のみゆきと出会う。水島とみゆきは意気投合し、みゆきが毎週木曜日に喫茶店に来ると聞き、「また会いましょう」と二人は約束した。しかし、二人は機械が得意ではないこともあり、連絡先を交換しない「アナログ」な関係をとることとした…。

現代では、携帯電話は当たり前で SNS が連絡手段の主流となり、連絡先を交換しない関係というのはほぼ無いのでは、と思います。懐かしさが漂う人間関係、明かされるみゆきの意外な過去など、みどころ沢山の一冊になっています。 (K.N)



*図書はメインカウンター脇にあります。ご利用ください。